



愛媛大学生協では、生協学生員会(1~3年生約250人)内に「環境部局(約40人)」を設置し、年間を通して環境活動を行っています。「学生が学生に呼びかける」ことで、少しずつですが、その取り組みは広がっています。以下に私たちの主な取り組みを紹介します。

## キャンドルナイト企画

7月 12月

この企画は今年で4年目を迎えました。食堂の廃油からキャンドルを作り、電気のありがたみを感じてもらうための企画です。今回は廃油40Lを使用し、過去最高の1000個のキャンドルを製作しました。愛媛大学のアカペラサークルの方々や、工学部の野村先生に協力していただき、素敵な歌声や電子レンジを使った液中プラズマ実験を地域の方々にも楽しんでいただきました。



また、今回は当初、予定していた7月6日が西日本を中心とした豪雨災害が起こり延期となりました。そのため、企画の冒頭では黙とうを行い、被災地の1日でも早い復興を祈りました。また、豪雨災害を被った地域への募金活動も行い、5,192円の義援金が集まりました。この企画は、回を重ねるごとに規模を拡大しており、地元新聞にも取り上げていただいています。今後もより一層大きな企画にしていきたいと考えています。

## 樹恩割り箸工場見学

11月

樹恩割り箸を作っている徳島県の工場を訪問しました。昨年は、1泊2日の日程で約15名が実際に樹恩割り箸を作っているところを見学させていただいたり、林業体験をさせていただいたりしました。重機に触れたり、チェーンソーでの伐採など、普段できない体験をさせていただき、環境問題への学びを深めることができました。



## 年間を通した企画

4月 5月 6月  
 7月 10月 11月

### 【樹恩割り箸の利用促進】

樹恩割り箸の3つのメリット、「間伐材を使用し、環境保全に繋がること」「食堂の排水を減少できること」「ハンディキャップを持った方の職支援になること」を宣伝し、利用を呼び掛けています。また、期間限定で「樹恩週間」を設け、利用分の金額がポイントとして還元され、実質無料で利用できるようにしました。この「樹恩週間」を設けたことで、利用率が2.8%から5.8%に上昇しました。

### 【リリパック弁当容器の使用促進】

愛媛大学生協では、昨年度年間約6.1トン使用し、4.3トン回収(70%)しました。これはリリパックを使用している全国148大学の中で、日本一の回収量となっています。回収強化キャンペーンでは、環境部局のメンバーが回収箱付近で呼びかけを行うなどして、期間中は回収率を83%に上げることができました。

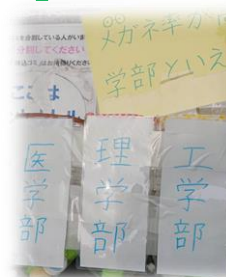
\*リリパック弁当容器とは

汚れた表面のフィルムのみを剥がして捨て、トレーを回収することでごみを減らすことにつながる。トレーを洗わずにリサイクルできるため水資源も守ることができる。



### 【ペットボトルキャップの回収】

ペットボトルとキャップを分別する習慣を身につけてもらうため、三択クイズの回収ボックスを設置し、回収方法を工夫しました。例えば、「メガネ率が高い学部といえば？」というお題で、選択肢は「医学部・理学部・工学部」としました。最も票を集めたのは「工学部」でした。環境には直接、関係はない問題ですが、楽しんで分別してもらえたようで、昨年の889個を大きく超え今回は1665個を回収することができました。



## エコピク

7月

学生委員会のメンバーでチームを作り、松山市内のごみ拾いを行いました。参加人数は20人でした。松山市は全国的に見てもごみの分別に厳しい街です。そこで、私たち学生委員会が代表となってごみの正しい分別方法を提示しようと思い、この企画を実施しました。回収したごみは全部で24kg(可燃8.7kg、ペットボトル2.7kg、プラスチック6.1kg、金物4kg、粗大ゴミ2.5kg)でした。活動報告として模造紙にまとめ、食堂内に掲示しました。



観光地と言われている道後地区周辺は、比較のごみが少ない印象でしたが、学生が多く住んでいる地域や、人通りが多い地域はごみの量も多かったです。

## その他の環境活動

### 【中古品回収】

卒業生から不要になった家具や家電を回収し、留学生に提供する企画です。再利用することで、資源の無駄を少しでもなくしていくことを目的としています。また、不用品の自転車回収もあわせて行っています。使用できるものは、格安のお値段でお渡ししています。2018年3月は、中古品が70点、自転車が53点集まり、抽選会には100名以上の留学生が集まりました。

### 【新入生ガイダンス】

新入生に向けて大学生活の情報を提供する生協主催のガイダンスを行っており、毎年約9割(約1700人)の新入生が参加します。その中で、環境活動や学内のごみ分別のルールについて約15分間話をしています。特に力を入れているのがリリパックの説明です。実際に新入生にフィルムをはがしてもらうなどして、リリパックの取り組みを知ってもらっています。参加者には大変インパクトがあるようで、上回生になってから「生協ガイダンスで何を覚えている？」と聞くと、「リリパックを剥がしたことしか覚えていないです(笑)」と言われることが多いです。